

# 神港学園報

2020  
June  
第83号



入学おめでとう

## Contents

大きな夢、大きな愛 理事長 植村 武雄	p1	「神港生から受験生へ」 第3学年主任 富岡 浩治	p4
意識が変われば 校長 中野 憲二	p1	挑戦しよう! 生徒会 吉岡 秀成	p4
「友達」 育友会 会長 柳田 一心	p2	退任	p5
連帯と調和 金星会 会長 米津 康男	p2	新任	p6
「常在戦場」 第1学年主任 本城 智昭	p3	令和元年度 進路状況	p7
「目標のある高校生活を」 第2学年主任 前田 洋平	p3		



発行人 学校法人 神港学園

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目19番20号 TEL.(078)241-3135 FAX.(078)232-1570  
<http://www.shinko.ed.jp> E-mail. [info@shinko.ed.jp](mailto:info@shinko.ed.jp)

## 大きな夢、大きな愛

◀◀ Message



理事長

植村 武雄

ご入学おめでとう。理事会を代表して、諸君を心から歓迎します。保護者の皆様、長い間手塩にかけて育ててくれたご子弟の高校進学をおよこび申し上げます。

新入生の皆さんは、小学校・中学校と義務教育で心身のありようを整えられ、人間としての基礎を修得されてこられました。そしていよいよ高校生です。3年後には卒業され、進路は様々でしょうが、社会の大海原に船出されることとなります。高校時代というのは、皆さんの人生航路を決める最も重要な3年間といえます。皆さんには高校時代を最大限有意義に過ごしていただきたいと思います。

現在わが国は新型コロナウイルス感染拡大の危機にあります。私たちはそれぞれに、加害者にも被害者にもなるのだという意識で、しかし、萎縮することなく学園生活、日常生活をエンジョイしてください。

そのために守るべきことがあります。1つ目は自己管理です。手洗い・手指消毒、マスク着用、身のまわりの清掃等を徹底しましょう。2つ目は、感染拡大の基地ともいえる空間を作らない、持たない、避けるということです。その空間の条件に「密閉」「密集」「密接」の3つ「密」があります。

これらの危機対応は、自分のためであるとともに、社会のために必要な社会的責務と心得たいものです。

学園生活で大切なことは、個を尊重し多様な価値観を認め合いながら、相互に信頼し声を掛け合って助け合うことです。対話、語り合い、コミュニケーションです。

また、何よりも大事なことは、学園生活の中から、生涯の友に出会い友情を育むことです。同窓の仲間として尊重し合い、相手の立場でよく考え、思いやりの心を持って語り合ってください。強いきずなは信頼関係があって成り立つものであり、信頼関係はどれほど正直で誠実であるかにかかっている、ということを強調したいと思います。

最後に、新入生諸君に美しく輝いてほしいとの思いから、ご入学に際してのエールを贈ります。「大きな夢を持とう!大きな愛を育もう!」ということです。大きな愛とは、愛の深さというよりも愛の広がりをいいます。博愛です。大きな愛に支えられた夢は、一見ちっぽけに見えるものでも、実は大きな夢です。友達の輪の中で、この大きな夢、大きな愛について語り合ってください。

## 意識が変われば

◀◀ Message



校長

中野 憲二

新入生の皆さん、入学おめでとう。

新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、いまだ終息の気配が見えない中での新学期となりました。国内外の状況によっては予定を変更せざるを得ないこともあるかもしれませんが、生徒の皆さんの安全・安心を第一としながら、本学園が目指す教育目標に向け教育活動を充実させていきます。

本校は1925年(大正14年)に神戸元町の商店主を中心とする篤志家のご尽力により向学心に燃える子弟に学びの場を与えんと創設されました。これまで96年の長きに渡って歴史と伝統を築き、4年後には創立100周年を迎えることになります。受け継がれてきた歴史と伝統を基礎に神港学園高校は挑戦を続けています。これまでの伝統を受け継ぎ、未来を展望し、さらなる発展をめざすのは、他ならない皆さん自身です。どうか一人ひとり、神港学園高校生としての自覚と誇りを持って、これから始まる高校生活を送ってほしいと思います。

さて、皆さんは次のようなことばを聞いたことはありませんか。

意識が変われば行動が変わる。

行動が変われば習慣が変わる。

習慣が変わればよい成果に結びつく。

そして、人生が変わる。

なるほど、と思う人は多いと思います。ただ、意識を変えることは実は大変難しいことです。しかし、人生は一回限りで、後戻りはできません。充実した人生を送れるかどうかは、皆さん自身の気持ち次第です。この神港学園に入学した機会に気持ち、意識を切り替えてください。

高校生活は中学校時代と比べものにならないくらい多くの挑戦の機会があります。学習活動はもちろん、学校行事、部活動、生徒会活動等、これまで自分自身に設けていた限界という枠を取り払って、今までの自分から抜け出して飛躍していく、新たな自分を知る、これまでの自分が驚いてしまうほどの新しい挑戦ができるのが高校生活です。是非、「意識を変えながら」3年間を過ごしてください。

そして、もう一つ忘れてほしくないことが、「思いやりと感謝の気持ち」です。

人は決して自分一人で生きているのではありません。支え、支えられて存在しているということを知る必要があります。あなたの知らないところにも様々な人生があります。あなた自身の人生がかけがえのないように、あなたの知らない人生もまたかけがえのないものなのです。自分を大切にし、助け合い、仲間と支え合う心、両親、家族、友達、先生方、自分を支えてくれる人への感謝の気持ちを決して忘れずに生活してほしいと願っています。

皆さんのこれからの神港学園高校での生活が、人生の素晴らしい一ページとなることを祈っています。

## 「友達」

◀◀ Message



育友会 会長  
柳田 一心

令和2年度新入生の皆さん入学おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。

不安と期待を胸に抱きながら皆さんは神港学園の生徒になりました。この高校生活は、皆さんが大人へ向かう大切な3年間になります。充実した高校生活を過ごすために、挑戦してもらいたいことが2つあります。

1つ目は、ぜひ友達をたくさん作ってほしいと思います。当たり前ですが、たくさんの中学校から生徒が入学していますよね。それぞれが様々な経験をしてきたと思います。たくさんの友達を作って、色々な刺激を受けてください。友達が多いほど自分の世界が広がります。世界が広がることで、将来の選択肢が増えるでしょう。皆さんは、今いる友達の中で心から何でも話ができる(相談ができる)友達はいますか?私には、小学校からの同級生で心から語り合える友達がいます。みんな各々の人生を進み、会うのは年に1回ですが、いつもお互いのことを気にかけて、困った時には相談に乗ってもらい、助けてくれます。もしその友達がいなかったら、私の人生は今よりも寂しい人生だったと思います。時にはケンカしたこともありましたが、今でも関係は変わりません。ただこれは、今だからこそ思えることかもしれません。皆さんには今いる友達とお互いを思いやり、助け合い、誠実に付き合ってもらいたいと思います。10年後、20年後も関係が続いているといいですね。

2つ目に、「対話」をしてください。面と向かって言葉を交わすこと。今はSNSなどで文章でのやり取りが簡単にできる時代です。繋がることで友達も簡単にできます。手書きの手紙などで文章に気持ちを込めることはできますが、SNSなどではなかなか難しいですよね。言葉には力があります。うまく話せなくてもいいので、気持ちを自分の言葉にして相手に伝えてみてください。きっと思いは伝わるはずです。友達だけでなく、皆さんの周りにいる人たちも同様に対話してください。必ず力になってくれると思います。皆さんはひとりではありません。必ず思ってくれている人がいます。その人たちを大切にできる人間になってください。

最後に繰り返しになりますが、この3年間は、皆さんの将来の進路を決める大切な時期です。ぜひ、自分の将来を自分で切り拓いてください。神港学園の熱心な先生方の指導のもと、皆さんが充実した楽しい高校生活が送れるよう心から願っています。

## 連帯と調和

◀◀ Message



金星会(同窓会) 会長  
米津 康男

入学おめでとうございます。

今、コロナウイルスの発生によって、私たちの周りを取り囲む現実が、安全かどうか、厳しい環境におかれています。疑心暗鬼に陥り、物の買い占めにまで走り始めている人たちがいます。こんな時であるからこそ、謙虚、連帯、奉仕の心を、しっかり持ってほしいと思います。連帯のあるところに、緊張、対立は存在しません。人と調和することを心に強く求めてください。連帯と調和は、人の心を揺り動かし、暖かさ、優しさを生み、前へ進むとする勇気を生み出します。これから新しい高校生活を歩み出す中でたくさんの試練がやってくるでしょう。しかし、辛く苦しい試練にあっても、孤独ではありません。友がいます。友と支え合えます。互いに理解しようと努力し、協力し合ってください。人間には越えることのできない限界もありますが、その限界を認めると、友への労りの心が生まれます。友の過ちを責めたり、裁いたりしないでください。おおらかさを持って包み込んでください。そのためには、偏見、先入観、慣習は、一度取り除いてください。これは、決してたやすいことではありませんが、まず自分の心を開いてください。また、友が心を開くのを待つことも大切なことです。私たちは、一人では生きることができません。多くの人たちの協力と、支え合いの中で生きています。そのために、しっかりと人の意見に耳を傾け、話し合い、対峙してください。どれほど意見が食い違っても、話し合おうと努力する中で、和解への道が開けます。違った意見、考え方があることが大切なのです。多様性の中で、人は揉まれ、磨かれ、成長していきます。自分と同じ考え方の人たちだけに囲まれては、大きな成長は期待できません。高校生活の中で、楽しく、ワクワクすることもあれば、辛く苦しいこともあります。辛く苦しい時が大切な時なのです。失敗、挫折、絶望に陥ることがあります。この時、この山場を、あえぎながらも、息を切りながらも、乗り越えてください。朝のない夜はありません。夜明けは必ずやってきます。与えられた環境の中で、最善を尽くし、悔いのない高校生活を送ってください。健闘を心からお祈りいたします。

## 「常在戦場」

◀◀ Message



第1学年 主任  
本城 智昭

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

「常在戦場」という言葉の読み方と意味はご存じでしょうか？

これは、「じょうざいせんじょう」と読みます。この言葉は、越後（現在の新潟県）の長岡藩牧野家の家訓です。牧野家は、関ヶ原合戦の前の真田昌幸との上田城合戦で敗北の責任を取らされました。しかし、その後の政治力で無事復活し、長岡藩7万4千石の大名にまで上り詰めた家なのです。“（平時でも）常に戦場にいるような緊張感を持ち、真剣に事にあたらなければならない”という意味で、古くから武士の心得（教訓）として用いられてきた言葉です。つまり、「日頃から油断しない」という姿勢を持つことの大切さを伝えています。

普段できていないことが、いざという場面で急にできるということは有り得ません。例えば、勉強が苦手で日頃から逃げ続けてきた人が、大学入試で突然高得点を出せるということはあまり考えられないでしょう。勉強にかかわらず、部活や生活習慣においても、普段からしっかり取り組むからこそ無意識でもできるようになり、その積み重ねがいつかきっと大きな成果となります。どんなことも本気になって一生懸命取り組めば、道が開けてくるものです。私たちの日常には「油断」や「誘惑」がたくさんありますが、「常在戦場」の姿勢を持ち、たとえ苦しく辛い場面に遭遇しても、最後まで

で踏ん張り切れる強い人になってほしいものです。

最後に、この広い宇宙の中で、人間は小さくて弱い存在であることを忘れずに、他人の気持ちを考え、お互いに協力し合い、これから出会う人たちやそっと支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れてはいけません。皆さんのこれからの神港学園高校での生活がすばらしいものとなるよう、色々なことにチャレンジして取り組んでいってください。今後の皆さんの活躍を期待しています。

## 「目標のある高校生活を」

◀◀ Message



第2学年 主任  
前田 洋平

新入生の皆さん、神港学園高校へのご入学おめでとうございます。また保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、皆さんは高校入学にあたって、いくつか目標を立てましたか？まだの人は、是非、考えてみてください。例えば、「勉強を頑張って大学に行く」、「部活動に打ち込み、インターハイに出場する」、または、「3年間、無遅刻、無欠席を目指す」などでも構いません。

目標があると、頑張ろうという意識が芽生えてきます。それは、これからの高校生活を送る上で、とても大きなエネルギーになります。目標達成に向けて、どのようなスケジュールで進めるのか、どういうステップを踏んでいくのかななどを試行錯誤しながら努力を重ね、最後まで頑張してほしいと思います。しかし、たとえ、目標が達成できなくても、達成に向けて努力したということ、継続できたということは、その後の人生において大きな力になるはずで。また、目標達成するために行った努力や工夫は、将来の自己実現にきつと役立つはずで。

神港学園には、一緒に目標を目指し、励まし合える仲間がきつといるはずで。目標に向かって一生懸命頑張ってください。また、神港学園高校の教職員全員、皆さんの目標達成を心から応援しています。

最後になりますが、3年後、皆さんが卒業していく時、神港学園高校で本当に良かったといえるような充実した高校生活を送ってください。

## 「神港生から受験生へ」

◀◀ Message



第3学年 主任  
富岡 浩治

受験生とは、その言葉通り、目標となる進路先へ進むための試験を受けて、合格できる力を身に付けるために努力する生徒のことである。では、いつから受験生となるのか？受験生と呼べるようになるのか？受験生と呼ばれるようになるのか？

高校へ入学した時、君たちの中にはすでに目標となる進路を思い描いていた人もいたのではないかと。そんな人たちは入学時から受験生であるのか？

多くの高校生が、高校に入学して、勉強、部活、たくさんの友人・先輩・先生と出会い、そんな生活の中で徐々に自分の将来を、つまり、「勉強したいこと」や「職業」などについて考えるようになり、目標となる進路先を絞り込んできたのではないかと。目標を持つことはとても大切である。しかし、これだけで受験生になれるのか？目標が決まるだけでは受験生ではない。

たとえば、硬式テニス部に所属していて、「試合に出たい！そして勝ちたい！」という目標があるからこそ、頑張れるし、続けられる。その目標に向かってレギュラー定着のため、顧問や先輩から試合に勝つためにやるべきこと、心構え、つまり基礎体力作りのトレーニング・素振りから始まり、フォア・バック・スマッシュ・サーブなどの練習を重ね、他校との練習

試合を通して個人の、またはチームの弱点を見つけ、さらに日々の練習でそれを克服したり、戦法を研究したり、実践的なトレーニングへと変化していくはずである。しかし、監督に言われた通りに戦って勝てるか？それだけでは難しいだろう。試合に勝つためには、選手一人一人が、視野を広く持って、今何をすべきなのかを冷静に判断し、また、チームを信じて、動けることではないか。つまり、「監督の指導」が土台となり、その上で、選手が「気づき・考え・行動」していくことで応用力を養成できるのである。これは、スポーツに限ったことではない。演劇だって、音楽だって、勉強だって、全て同じである。勉強においては「学校の授業での学び」が基礎力となり、「自律学習」することで応用力が身につくのである。

さて、真の受験生とは、結論から言うと、勉強の習慣がついているかどうかである。これまでの高校2年間で、宿題や予習・復習などをやってきただろうか？これらはある意味、学校から与えられているもので、やるのは当然ではあるが、それプラスアルファの勉強まで手を出せたのだろうか？つまり、与えられたものではなく、自ら進んで目標を決めて勉強をすることである。これができている人は、まさに真の受験生である。

世間では「高校3年生」から「受験生」と呼ばれるようになる。1日でも早く真の受験生となり、高校の最終章を価値のあるものとしてほしい。

## 挑戦しよう！

◀◀ Message



生徒会  
吉岡 秀成

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。神港学園生を代表してお祝い申し上げます。入学して、神港学園の印象はどうですか？私は入学した当初、環境が変わり授業についていけないのか、うまく友達を作れるのか、不安で胸がいっぱいでした。しかし、そんなときに先輩や先生方に勉強やわからないところを教えてもらったり、クラスでは親友ができてきたり、とても気持ちが楽になり充実した学園生活が送れるようになりました。皆さんは3年間この学校で過ごします。何かしてみたいこと、挑戦したいことができた時は、是非やってみてください。もし、くじけたとしてもあきらめずに色々な角度から再挑戦してください。それができた時、この神港学園で学んだ3年間で必ず将来に役立つと思います。しかし、過ごしていく中で不安もあると思います。その時は、私たち上級生が全力でサポートします。必ず先生が助けてくれます。ほんの少し勇気を出すことで可能性をどんどん広げ、選択肢を増やしていけると 생각합니다。

高校生活は一生に一度だけです。悔いが残らないように頑張ってください。一緒に楽しい学園生活を送っていきましょう!!

# 退任



教頭  
後藤 誠

教 科 数学科  
昭和52年4月～令和2年3月  
(43年間)



教諭  
森井 清博

教 科 理科  
平成27年4月～令和2年3月  
(5年間)



職員  
越智 昭三

事務  
平成18年2月～令和2年3月  
(14年2ヶ月間)  
引き続き嘱託職員として勤務



常勤講師  
赤松 延浩

教 科 国語科  
平成29年4月～令和2年3月  
(3年間)



常勤講師  
田中 佐代子

教 科 国語科  
平成31年4月～令和2年3月  
(1年間)



常勤講師  
山本 浩一

教 科 国語科  
平成28年4月～令和2年3月  
(4年間)



常勤講師  
小野田 博行

教 科 地歴公民科  
平成30年9月～令和2年3月  
(1年7ヶ月間)



常勤講師  
松田 真由子

教 科 英語科  
平成31年4月～令和2年3月  
(1年間)



常勤 ALT  
Fargas Ramon Ybanez

教 科 英語科  
平成28年4月～令和2年3月  
(4年間)  
引き続き嘱託職員として勤務

# 新任



教頭  
**坂東 敬一郎**  
教 科 英語科



教諭  
**辻井 嘉介**  
教 科 英語科



教諭  
**田中 征史**  
教 科 理科



常勤講師  
**川又 俊介**  
教 科 国語科



常勤講師  
**楠本 智哉**  
教 科 国語科



常勤講師  
**畑 穂乃香**  
教 科 国語科



常勤講師  
**本岡 諒也**  
教 科 地歴公民科



常勤講師  
**松本 玲央奈**  
教 科 理科



常勤講師  
**甲斐 阿喜子**  
教 科 英語科



常勤講師  
**田村 秋穂**  
教 科 英語科

令和元年度 進路状況 令和2年4月 現在

4年制大学合格者 179名

Table with 4 columns: University Name,合格人数 (平成29年度, 平成30年度, 令和元年度), and University Name,合格人数 (平成29年度, 平成30年度, 令和元年度). Lists 179 universities and their respective合格人数.

短期大学合格者 8名

Table with 2 columns: University Name,合格人数. Lists 8 short-term universities and their respective合格人数.

専門学校合格者 43名

Table with 4 columns: University Name,合格人数, University Name,合格人数, University Name,合格人数. Lists 43 vocational schools and their respective合格人数.

就職合格者 51名

Table with 4 columns: Company Name,合格人数, Company Name,合格人数, Company Name,合格人数. Lists 51 companies and their respective合格人数.